

ウーマン アイ

料亭が生まれ変わる



黒塀の料亭や狭い路地、石畳の横町など風流

なたたずまいが残る東京

・神楽坂。その一角にワ

インバー「Chika」

＝写真＝を見つけた。元

料亭で、築五十年という

一軒家の外観を残し、内

装をリフォームして六月

末にオープンした。

フランス人のデザイナー

＝を起用しており、外観からは想像できないモダンなインテリアだが、一

部には昔のままの和室も

ある。こぢんまりした中

にも過去、現在、未来が

クロスするユニークな空

間だ。

なぜか最近、料亭を改

装した店が話題を集めて

いる。「Wakkiya」

階なら座敷で上海家庭料理を味わえる。

歴史ある料亭の敷居は

高いものだ。「一見（いちげん）さんお断り」と

いう言葉に代表されるよ

うに、ビジネスマンら得

意客以外にとって気軽に

足を運べるところではな

い。

「元料亭」はそんな空

間を広く開放したものと

いえる。若い女性だけの

グループでも、都会の中

の隠れ家のような独特の

情緒を楽しむわけだ。

こう聞くと、きめ細か

いもてなしなど「料亭文

化」が失われていくこと

を嘆く声があるかもしれない。

しかし長引く景気

停滞で、老舗でも生き残

っていくのは容易でない

昨今。女性ら新しい顧客

が有効活用のアイデアを

後押しするのは、時代の

流れではないだろうか。

（「食チャンネル」プロ

デューサー

笑美茶楼（いちえみちや
るう）もその一つ。テ
レビでおなじみの中華の
有名料理人、脇屋友詞さ
んが東京・赤坂に開店し
たばかりだ。一階ではテ
ラス付きテーブル席、二